

白根北中学校
学校だより

教育目標
自立 友愛 勇気



立場を変えてみる

すっかり季節が進みましたね。
暑かった夏が遠い昔のようです。
空に白鳥が飛び交い確実に冬が
近づいていることが分かります。

毎年、秋から冬にかけて、白鳥が
飛来する様子を見るのを心待ちに
しています。ところで先日、

「白鳥はなぜ遠くまで餌を食べに
行くのだろう」と、

今更ながら不思議に思いました。

私からすれば飛来した湖の近く
にも田んぼがあるのだから、遠くの
田んぼまで飛んで出かける必要は
ないのではないかと感じてしま
います。

このことについて、白鳥に尋ねる
こともできないので、対話型AIに
質問してみました。すると、こんな
回答が返ってきました。

① 白鳥はとても警戒心が強く人や
車などのそばを避ける。

② 経験から餌の多い



③ 群れで行動する習性から

先導する鳥の判断に従う。

④ 白鳥の飛行効率是非常に高く、

数キロの移動は負担ではない。

以上の理由で安全に落ち着いて
餌を食べることのできる所を求め
飛んでいるとのことでした。AIは
時に誤った回答があるようですが
この回答は、信頼できそうで、感心
しました。

◆ 電柱はどうして…? ◆

さて私の自宅の近くに、交通量が
多い割に、幅が狭い道があります。
小学生や高校生の通学路で、朝夕は
歩行者が大勢です。ガードレールが
ないので、車で通ると歩行者にぶつ
からないか気をつけてスピードを
落とします。

さらに困ったことに、いくつもの
電柱が白線近くに立っているため
歩行者が少なくても速度を上げる
ことができません。地域の人からも
「電柱をもう少し下げてくれたら、
安心して運転できるのに…」

という声が聞こえます。以前、私の
父親が地域の自治会長をしていた
ことから早速、区役所につけ合っ
て電柱を下げてもらえないか聞いて
みました。するとその
回答はこちらが期待した
ものではありませんでした。



「あの道は幅が狭い割に、人通りが
多く、特に小学生やそれを見守る
お年寄りがたくさん利用します」

「もし電柱を下げたら、車はもっと
スピードを出して、歩行者が安心
して利用できなくなりますか」

◆ 相手の立場 ◆

白鳥のえさ場も、道路に飛び出た
電柱も、立場を変えてみると意外な
一面が見えてくると感じます。

車の運転手からすると、飛び出た
電柱は下げてほしい。その一方で、
歩行者にしてみれば、幅の狭い道を
速度を上げて走る車は危険です。

私たちはとかく、良かれと思って
「●●すればいいのに」とか「●●
してもらえませんか」と考える時が
あります。しかしそんな時こそ実は
「相手はどう考えているのだろう」
と立ち止まることも必要なのかも
知れません。

◆ 合唱祭大成功 ◆

8日(土)、『りゅーとびあ』にて「合唱祭」が行われました。今年は合唱の優劣を競うコンクール形式から、各合唱の良さを味わう合唱祭形式とした初年度です。発表形式は変わりましたが各学年、学級とも、素晴らしい歌声を響かせてくれました。講師の先生にも

大変おほめいただき、合唱のもつ力と、その素晴らしさをしっかりと感じるのできた1日となりました。



また今年は他に、これも初の試みとして「PTA 北の塔合唱団」において、当日の飛び入り参加を呼びかけてみました。会場一体となった手拍子の中、『上を向いて歩こう』を歌い、合唱団の皆さんも笑顔で歌い終えることができました。

当日ご来場いただいた皆様、大変ありがとうございました。

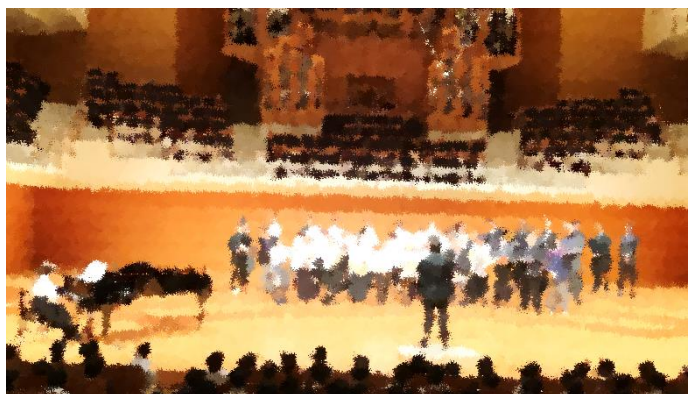
2 学年合唱 『生命が羽ばたくとき』



1 学年合唱 『夏の日のお礼』



P T A 合唱 『TRAIN-TRAIN』、『上を向いて歩こう』



3 学年合唱 『手紙 ～拝啓 十五の君へ～』



先日「合唱祭」が終わり、全校で取り組む大きな行事は一段落です。各学年では休む間もなく、それぞれの準備に取りかかっています。

【1年生】

「6年生の中学校体験」に向けた準備を進めています。6年生が喜ぶ顔が目に見えます。

【2年生】

「生徒会役員」選出のための選挙活動を行っています。先日は親子で修学旅行の説明を聞いたり、今後の進路についての具体的な準備等を聞いたりしました。

【3年生】

「進路選択」のための準備が本格化していきます。先週末はまとめのテストにも取り組みました。風邪に氣をつけて頑張ってください。

令和7年11月19日(水)

令和7年度 第13号

文責 校長 山口 靖博